

全経簿記1級 会計 第177回 第5問類題

問題

(株)小笠原商事会社の第26期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)末の〔資料1〕決算整理前残高試算表、〔資料2〕検討事項および〔資料3〕決算整理事項によって、次の間に答えなさい。(36点)

【問1】貸借対照表の資産の部に表示される「現金及び預金」の金額を求めなさい。

【問2】貸借対照表の負債の部を完成しなさい。

【問3】損益計算書を完成しなさい。

〔資料1〕決算整理前残高試算表

貸方科目	金額	貸方科目	金額
現金	600	買掛金	6,500
当座預金	18,500	長期借入金	4,500
売掛金	8,000	仮受金	1,500
有価証券	4,500	退職給付引当金	6,000
繰越商品	5,500	貸倒引当金	40
仮払金	2,500	建物減価償却累計額	6,000
建物	20,000	備品減価償却累計額	2,900
備品	6,000	資本金	13,000
土地	15,000	資本準備金	7,000
仕入	72,000	利益準備金	4,000
給料手当	9,000	別途積立金	8,000
旅費交通費	2,100	繰越利益剰余金	6,770
水道光熱費	1,500	売上	100,000
消耗品費	1,200	受取配当金	200
雑費	510	投資不動産賃貸料	500
	166,910		166,910

〔資料2〕検討事項

1.手許現金残高 500 千円で、現金帳簿残高と一致していないので、不一致の原因を調べたところ、コピー機のインクとコピー用紙合計 80 千円の購入が記帳漏れであったことが判明したが、他は判明しなかった。また、金庫の中に未処理の株主配当金額収書 60 千円があった。

2.仮払金の内訳は、次のとおりである。

(1)退職した従業員に支払った退職一時金 500 千円

(2)法人税等の中間納付額 1,200 千円

(3)消費税の仮払額 800 千円

3.仮受金の内訳は、次のとおりである。

(1)未使用の発行済商品券 500 千円

なお、当社は、当期より当社が独自発行する商品券制度を導入した。商品券発行時に仮受金勘定で処理し、商品券使用時に売上勘定に計上してきている。

(2)消費税の仮受額 1,000 千円

4.当社は、消費税の処理方法として税抜方式によっている。本日、課税計算期間末であるので、消費税の整理を行う。

〔資料3〕決算整理事項

1. 売掛金期末残高に対して過去の貸倒実績率 1.5%の貸し倒れを差額補充法により見積もる。

2. 有価証券は売買により利益を得る目的で保有し、その内訳は次のとおりである。

銘柄	保有株数	取得単位原価	期末単位時価
奈良会社株式	1,500株	1千円	0.9千円
琉球会社株式	2,000株	1.5千円	1.7千円

3. 期末商品棚卸高の内訳は次のとおりであった。なお、棚卸減耗費は売上原価とし、売上原価の内訳科目として表示すること。

種類	期末数量		期末単価	
	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	取得原価	正味売却価額
a商品	600個	550個	5千円	6千円
b商品	500個	450個	5.4千円	6.5千円

4. 減価償却は、次のとおり行う。

建物 定額法 耐用年数 50年 残存価額はゼロ

備品 定率法 耐用年数 7年 残存価額は取得原価の 10% (定率 0.280)

5. 長期借入金 4,500千円は、平成 26年 9月 1日に、取引銀行から借入期間 3年、利率年 2%、1年毎に 1,500千円を分割返済するとともに経過利息を支払う条件で借り入れたものである。

6. 従業員賞与を支給対象期間に基づき引当計上する。平成 27年 6月 25日支給日の賞与の対象期間は、平成 26年 12月 1日から平成 27年 5月 31日までであり、当該支給見積額は 1,500千円である。

7. 当社は、引渡商品に対する欠陥について、引渡後 1年間無償で補修すべき旨の保証契約があり、このために売上高に対して過去の実績率(0.8%)の商品保証引当金を計上する。

8. 退職給付は内部積立方式によっているが、退職給付引当金の当期の繰入額は 600千円である。

9. 投資不動産賃貸料には、平成 26年 11月 1日に受け取った向う 6か月分の賃貸料 120千円が含まれている。

10. 法人税等 4,500千円を計上する。

答案用紙

【問1】

(単位：千円)

現金及び預金	
--------	--

【問2】

(単位：千円)

負債の部	金額
流動負債	
買掛金	6,500
1年以内返済長期借入金	()
未払費用	()
未払法人税	()
未払消費税	()
()	()
前受収益	()
商品保証引当金	()
賞与引当金	()
流動負債合計	()
固定負債	
長期借入金	()
()	()
固定負債合計	()
負債合計	()

【問3】

損益計算書

(株)小笠原商事会社 平成26年1月1日～平成26年12月31日 (単位：千円)

売上高		100,000	
売上原価			
期首商品棚卸高	5,500		
当期商品仕入高	72,000		
合計	77,500		
期末商品棚卸高	()		
差引	()		
棚卸減耗費	()	()	
売上総利益		()	
販売費及び一般管理費			
給料手当	9,000		
退職給付費用	600		
賞与引当金繰入	()		
貸倒引当金繰入	()		
商品保証引当金繰入	()		
旅費交通費	2,100		
水道光熱費	1,500		
消耗品費	()		
減価償却費	()		
雑費	510	()	
営業利益		()	
営業外収益			
受取配当金	()		
()	()		
投資不動産賃貸料	()	()	
営業外費用			
支払利息	()		
()	()	()	
税引前当期純利益		()	
法人税等		4,500	
当期純利益		()	

解答 ● @2点×18=36点

【問1】

(単位：千円)

現金及び預金	●	19,060
--------	---	--------

【問2】

(単位：千円)

負債の部		金額
流動負債		
買掛金		6,500
1年以内返済長期借入金	(●)	1,500
未払費用	()	30
未払法人税	(●)	3,300
未払消費税	(●)	200
(商品券)	(●)	500
前受収益	(●)	80
商品保証引当金	(●)	800
賞与引当金	()	250
流動負債合計	()	13,160
固定負債		
長期借入金	()	3,000
(退職給付引当金)	(●)	6,100
固定負債合計	()	9,100
負債合計	()	22,260

【問3】

損益計算書

(株)小笠原商事会社 平成26年1月1日～平成26年12月31日 (単位：千円)

売上高		100,000	
売上原価			
期首商品棚卸高	5,500		
当期商品仕入高	72,000		
合計	77,500		
期末商品棚卸高	(5,700)		
差引	(71,800)		
棚卸減耗費	(●) 520	(●) 72,320	
売上総利益		(27,680)	
販売費及び一般管理費			
給料手当	9,000		
退職給付費用	600		
賞与引当金繰入	(●) 250		
貸倒引当金繰入	(●) 80		
商品保証引当金繰入	(800)		
旅費交通費	2,100		
水道光熱費	1,500		
消耗品費	(●) 1,280		
減価償却費	(●) 1,268		
雑費	510	(17,388)	
営業利益		(10,292)	
営業外収益			
受取配当金	(●) 260		
(有価証券評価益)	(●) (250)		
投資不動産賃貸料	(●) 420	(930)	
営業外費用			
支払利息	(30)		
(雑損)	(●) (20)	(50)	
税引前当期純利益		(11,172)	
法人税等		4,500	
当期純利益		(6,672)	